

和歌山県の森づくり「企業の森」事業に KINCHO が2カ所目の参画 「KINCHO 未来の森」 森林保全・管理協定に調印

～サステナビリティ活動の一環、KINCHO 創業の地・和歌山の森林環境保全に貢献します～

KINCHO（社名：大日本除虫菊株式会社、本社：大阪市西区、代表取締役社長：上山直英）は、サステナビリティ活動の一環として、和歌山県の取り組みである「企業の森」事業への2カ所目の参画を行います。

令和7年2月4日、和歌山県庁知事室にて、和歌山県、有田川町および KINCHO の三者は、和歌山県有田郡有田川町大字中の森林の保全事業・管理協定に調印しました。令和7年2月から令和17年2月までの10年間、KINCHO は当地を「KINCHO 未来の森」として、金屋町森林組合に委託する形で森林保全事業をおこないます。

<「KINCHO 未来の森」活動の目的>

1890年、KINCHO 創業者上山英一郎は、和歌山県有田市（現在の KINCHO 紀州工場）で世界初の「蚊取り線香」を発明しました。現在も KINCHO の蚊取り線香「金鳥の渦巻」は、除虫菊をはじめとした厳選した天然原料を用いて和歌山県内で生産されています。

除虫菊や木粉など、自然の恵みを利用して人々の暮らしに役立つ製品を作ってきた KINCHO の企業活動と、和歌山県の森林保全活動の考えが一致することから、サステナビリティ活動の一環として、創業の地の和歌山において、引き続き2カ所目の森づくり「KINCHO 未来の森」に参画することとしました。

なお、平成20年9月から KINCHO 関連団体である公益財団法人上山遺児育英会（代表 上山直英）が有田川町糸川地内に「未来の森」（1.92ha）を開設、平成30年9月からは KINCHO が継続して保全活動を行っていましたが、令和6年9月に整備が完了して活動が終了し、今回は2カ所目の活動地になります。

<森林保全活動の概要>

- ・森林の名称：「KINCHO 未来の森」
- ・活動地：和歌山県有田郡有田川町大字中 1.61ha（民有林）
- ・活動期間：令和7年2月4日～令和17年2月3日（10年間）
- ・活動内容：今年度より間伐を開始
森林保全事業は金屋町森林組合に委託

<当地を選んだ理由>

KINCHO 発祥の地であり、現在も KINCHO 紀州工場がある有田市に近く、現地へのアクセスが良く活動しやすい場所であること、蚊取り線香の原料である除虫菊がかつて有田川流域で多く栽培されており、地域の歴史や文化の体験、地域の皆さんとの交流が可能であることです。

<調印式の様子>

